

永山祐子建築設計が設計した複合商業施設〈ソラトカゼト 西新井〉屋根に 日本製鉄の意匠性チタン TranTixxii®が採用

日本製鉄株式会社(以下、日本製鉄)の意匠性チタン TranTixxii®(トランティクシー)が東京・西新井にオープンした複合商業施設〈ソラトカゼト 西新井〉の屋根に採用されました。

施設名称の〈ソラトカゼト 西新井〉とは、“空を感じ、風が通る。体温が伝わり、会話が生まれ、笑顔になれる。”というコンセプトに基づき、永山祐子建築設計により設計されました。〈ソラトカゼト 西新井〉は、西新井大師へ向かう「さくら参道」に立地し、桜並木とほぼ同じ高さの低層 2 階建てで、現代風でありながら古き良き日本の長屋の風情があります。

〈ソラトカゼト 西新井〉は、事業主のリブランが初めて手掛ける商業施設であり、そのプロジェクトにふさわしい意匠材を採用したいという思いに対し、永山祐子建築設計が TranTixxii を選定しました。

陽極酸化で発色された TranTixxii は、下屋(2 階建ての建物で 2 階部分よりはみ出した平屋部分)部分に採用され、陽の光を一杯に浴びた TranTixxii の反射光が軒を照らし建物に優雅な演出を加えています。その計算された演出を具現化した TranTixxii の色は、チタン表層にある無色透明な酸化被膜を通る光が干渉を起こし発色しているため塗装では無く、素材そのものが発しています。今回採用された色相は、見る角度や時間によりピンクや金色に表情を変えるため、桜の季節には花の色とのコラボレーションにより街の景観により一層の色どりを与える事が出来ます。

また、下屋と軒の間には採光窓が設置されているため、TranTixxii の反射光が部屋中にも届き時間の経過と共に内装の表情変化を楽しむ事が出来ます。

TranTixxii は、金属イオンの溶出がほとんどなく、塗装工程がないため揮発性有機化合物(VOC)が発生する機会が無いため、環境にやさしい金属です。また、耐食性が高く長期使用に耐えうる事よりメンテナンスなどの負荷や工事機会を軽減することに貢献します。加えて、チタンは、鉄と同等の強度を持ちながら、他の建築用金属素材と比較して比重が小さいため、薄肉化による総重量の軽量化が可能になり、運搬や施工時の負荷が軽減出来るなど、CO₂削減に寄与します。

日本製鉄は、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)にも合致した製造プロセスの開発、優れた製品・サービスの提供を通じて社会の発展に貢献して参ります。

■案件概要

- (1) 名称 : ソラトカゼト 西新井
- (2) 事業主 : 株式会社リブラン <https://www.livlan.com/>
- (3) 設計 : 有限会社永山祐子建築設計 <https://www.yukonagayama.co.jp/>
- (4) 建設 : TC 神鋼不動産建設株式会社 <https://www.tckobelco2103.jp/tsk/>
- (5) チタン使用量 : 500Kg
- (6) 竣工・オープン : 2022年10月



Photo©高栄智史



Photo©高栄智史



Photo©高栄智史



日本製鉄のデザインチタン「TranTixxii（トランティクシー）」ホームページ

<https://www.nipponsteel.com/product/trantixxii/>

お問い合わせ先：

日本製鉄株式会社

総務部広報センター

TEL：03-6867-3419

チタン営業部自動車・建材室

TEL：03-6867-5611

以 上